

令和7年度定時総会・研修会を開催！

令和7年6月20日（金）国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都・渋谷区）にて



日本PTA

発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 太田 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
<https://www.nippon-pta.or.jp/>



この二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱 領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めるとともに、家庭・学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

令和7年度
定時総会ダイジェスト

1面

○祝辞、会長あいさつ

2面

○新役員の意気込みと抱負

令和7年度定時総会が6月20日（金）に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都・渋谷区）にて開催されました。また、翌21日（土）には新体制に伴う研修会が同会場にて行われました。

20日の総会は、総正会員54名中、来場出席者50名、委任状による出席者4名による全54名の出席により開催されました。

議事進行は、議長に選出された岐阜県PTA連合会会長の阿部雄介氏により行われ、審議議案はすべて可決されました。

翌21日の研修会は、森山慎作専務理事の司会進行の下、新年度役員と出席者の対面方式により行われました。

この度、新たに制作された「公益社団法人日本PTA全国協議会の役員として知っておくべき重要な事項」についてまとめられた動画を視聴した後、太田会長より日本PTAの歴史を踏まえて「これからのPTA」についての発表がされるなど、新体制でのスタートに相応しい充実した内容で研修会が実施されました。

祝 辞

文部科学省総合教育政策局長
茂里 毅 様



令和7年度公益社団法人日本PTA全国協議会の定時総会が盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃からPTA活動を通じ、学校・家庭・地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

文部科学省では、学校運営協議会制度と地域学校協働活動の一体的取組の推進など、地域の実情にに応じて学校・家庭・地域の連携を深めていただく取組を推進しているところ、PTAの皆様には、学校・家庭・地域をつなぐ中心的存在として、これらの活動に積極的に参画いただいていることと思います。

6月11日には、いわゆる

教員給与特別措置法等の改正法が成立いたしました。本改正により、公立学校の校長が学校運営協議会の承認を得ることとなっている学校運営に関する「基本的な方針」に、働き方改革の内容を追加することとしており、学校運営協議会の活用を通じて、働き方改革への協力が得られる体制が構築されることを期待しております。すでに学校運営協議会制度に参画いただいているPTAの皆様には、学校の働き方改革の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、各地域の実情に応じたPTA活動を通じて子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向けて、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

そのためにも、貴会におかれましては、組織としての健全な運営体制を整え、社会からの信頼を確かなものとし、社会に根差した活動に御尽力されますことを心より期待申し上げます。

結びに、公益社団法人日本PTA全国協議会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍をお祈り申し上げます。ご祝いの言葉といたします。

ご挨拶

公益社団法人日本PTA全国協議会
太田 敬介 会長



皆さん、こんにちは。本日

ご来賓として、文部科学省総合教育政策局長・茂里局長、地域学習推進課・高田課長、家庭教育支援室・片見室長をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席いただいたことを心より感謝いたします。そして、全国より正会員であります協議会の皆様、日頃より各地でPTA活動を力強く、そしてあたたかく推進していただいていることを心から敬意と感謝を申し上げます。

まず、皆様には日本PTA元会長であられました金田淳さんとの訴訟が続いて参りましたが、今般、裁判所からの和解案が提示され、それを相互が受け入れるカタチとなり6月16日を持ちまして和解が成立しましたことをご報告申し上げます。皆様には長い間、ご

心配とご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫びを申し上げます。

さて、本日定時総会を迎えまして、私が会長に就任してからこの一年、色んな事がありました。元幹部が背任容疑で逮捕されたことを受け、内閣府公益認定等委員会から運営状況を是正する厳しい指摘を受け、日本PTAに対し是正勧告が出されました。

皆様も各報道によりご存じだとは思いますが、SNSによる色々な書き込み等もあり、さまざまな意見をいただきました。

しかし、私たちは一つひとつの意見に対し真摯に向き合い日本PTAはどうあるべきかを真剣に誠実に議論を重ねてきた一年間でもありました。

そして、3月31日付で日本PTAの改善計画を提出させていただきました。いま、その改善計画をどのように実践するかという段階に入っております。全国のすべての会員が丸ごと一丸となって実践に取り組んで参りたいと考えております。本年度を皆さんと一緒に新たな日本PTAの一年間としていと思ひます。どうぞ、よろしく願ひいたします。

新役員（三役）より、新体制で取り組む意気込みと抱負を伝えます。

会 長

おた けいすけ
太田 敬介



新年度を迎えるにあたり、全国のPTA会員の皆様、日頃よりPTA活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

います。公益社団法人日本PTA全国協議会は、過去、発生した不正事案を受け、令和6年度に内閣府より適正な法人運営を行うべく各指摘を踏まえた勧告を受けました。私たちは、助言を真摯に受け止め、ガバナンスを重視した改善計画を策定し、今年度は、確実に実行していく年となります。併せて、昨今、PTAに対する多様な声が寄せられる中、私たちはこそ原点に立ち返り、新しく生

副会長

あみじま こうじ
網島 幸治



令和7年度、副会長を仰せつかりました網島幸治です。PTAの先人たちが学校の教育活動の支援はもとより家庭教育

の推進など、子供たちの教育環境の整備にひたむきに取り組んで来られたことを知り、「子供たちのためにながでできるか」とためてPTAの意義について認識を深めているところです。近年、PTAを取り巻く社会環境が大きく変わる中、PTA不要論、任意加入問題、不登校対策・部活動地域展開も大きな課題です。PTAは、子供を守る組織として大

副会長

しゅくなみ よういち
宿南 洋一



このたび、副会長を拝命いたしました宿南洋一です。微力ではございますが、子供たちの健やかな成長と、家庭・学校・地域

をつなぐPTA活動の充実のため、誠心誠意取り組んでまいります。子供たちの未来は、私たち大人の「今」の選択にかかっています。公益社団法人としての使命を果たすためにも、内閣府からの勧告に真摯に向き合い、措置状況として報告した内容を着実に実行し、組織の透明性と信頼性を高めていく改革に、理事として取り組んでまいります。

副会長として迎える3年目は、これまでの経験を礎に、より踏み込んだ「実行」と「発信」を担う覚悟です。私たちPTAの活動は、単なる保護者の集まりにとどまらず、家庭・学校・地域と手を取り合い、子供たちの健やかな成長を支える「共に育む教育」の場です。変化する時代の中にあっても、伝統を尊重しながら、柔軟で風通しの良い組織づくりを推進してまいります。

多様な声が届き、活かされるPTAへ。誰もが「参加してよかった」と思えるような、温かく前向きな空気を育んでいきたいと願っています。「今」こそ、変わる力を。この想いを胸に、未来の子供たちが安心して学び合い、笑い合える社会の実現に向けて、皆さまと共に一歩を踏み出していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

専務理事

もりやま しんさく
森山 慎作



専務理事を務めます宮崎県PTA連合会の森山慎作です。今年度は日本PTAの真価が問われる一年となります。全国各地からお寄

せいただいている注目と多くのご期待に、改めて身の引き締まる思いです。会員皆さまに寄り添った活動ができるよう、まずは協議会代表者とのコミュニケーションを十分に取って、参加したくなる委員会や風通しの良い理事会・代表者会の運営、そしてスケールメリットを最大限に活用した事業展開を目指してまいります。公益法人の運営においては、透明性とガバナンスを維持しながら、業務執行に係る役

員理事の補佐、関係省庁など外部との連携、そしてサステイナブルな組織運営を目指し、努力を重ねてまいります。どうかご理解とご協力をよろしくお願い致します。日本PTAは全国の会員皆さまの会費によって運営されています。私たちが単位PTAや連合会・協議会を下支えする存在となれるよう、関わる全ての皆さまへ感謝の気持ちを忘れず、一期一会を大切に活動に取り組んでまいります。



対面方式で行われた研修会

副会長

みぞぐち けんじ
溝口 憲治



副会長を務めさせていただくことになりました。山口県PTA連合会所属の溝口憲治です。昨年度は理事、外部機関連携委員会委員長など

を務めさせていただき、公益社団法人としての責任、PTA全国組織として果たすべき役割、そして法人運営に伴うさまざまな課題など、大変多くのことを学ばせていただきました。PTAは社会教育関係団体であり、団体ごとに担う役割が異なっています。日本PTAについては、公益社団法人であり公益事業を通じて、最終的には社会の発展に寄与することを目指すとしています。この目的を達成するための公益事業を執

行していくことが、公益社団法人の業務執行理事の務めであり、日本PTAの意義の一つです。今存在する各団体は、先人たちの善意と努力により、社会教育その本来の意義を守りながら継続されてきており、そのことが日本の社会を底支えているものと確信しています。今後はその本質、意義を常に再確認し、そこから時代のニーズに合ったPTAの在り方を模索していく必要があると感じます。

常務理事

やました やすゆき
山下 泰幸



令和7年度の常務理事に就任いたしました若手県PTA連合会会長の山下泰幸と申します。近年、全国的な少子化の影響による会員の

減少に加え、当会における不祥事を原因とした協議会からの退会もあり、会全体の予算は大変厳しくなってきました。こうした状況を踏まえ、信頼回復と公益目的事業の在り方を見直し、知恵を絞ってまいります。つきましてはこれまでの活動や先人の教から学びつつ、現代に適合する新しい発想や見直しを行い、全国のPTA会員の皆様とともに教育現場が抱える課題について情報交換を行いながら、改善策を見出すために取り組んでまいります。今年度も文部科学省をはじめとする各教育関係団体との連携を一層深め、会員の皆様にとって有益な情報を提供してまいります。日本最大の社会教育関係団体としての責任を満ちたべく、全国の会員の皆様と力を合わせ、日本の未来を担う子供たちの明るい将来と笑顔のために、役員一同一丸となって活動してまいります。今後とも、皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



定時総会の様子